



平成 23 年 12 月 15 日

発行：富里地域ふるさと協議会
富里地区社協部会編集・製作：広報部
Tel 7173-9531

平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東日本大震災におきまして、被害に遭われました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々と、ご遺族の皆様には、深くお悔やみ申し上げます。一日も早く地域が復旧・復興されることをお祈りいたします。

また、富里地域ふるさと協議会では、6 月 12 日に開催しました「ふるさと祭り」のバザー売上金全額 175,288 円を柏市社会福祉協議会に対し、東日本大震災被災者支援義捐金として寄付いたしました。



バザーにご協力、お買い上げいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

さて、今回のふるさと通信「どんぐり」は、100 回目の発行となりました。このことを記念し、紙面を刷新するとともに、今年発生しました東日本大震災を教訓として、地震発生時の対策を取りまとめることとしました。

富里地区で生活や勤務される方々に永久保存版としてご利用ください。

地震対策

1. 地震発生の危険度を知っておきましょう。

柏市が調査しました富里地区の地震による被害想定は次のとおりになっています。

○東京湾北部地震（マグニチュード 7.3）の場合
震度 5 強～6 弱

○茨城県南部地震（マグニチュード 7.3）の場合
震度 5 強～6 弱

○柏市直下地震（マグニチュード 6.9）の場合
震度 6 弱～6 強（6 強の地域が多い）

※ 液状化危険度はいずれの場合も低いとされています。

2. 避難場所や防災施設を覚えておきましょう。

（ ）内は住所、電話番号。

○富里地区防災拠点
富里近隣センター（富里 2-4-4、7173-9531）

○柏市指定避難場所
豊小学校（豊四季 610-2、7174-0755）
柏第三小学校（若葉町 4-54、7167-3161）

○防災備蓄倉庫設置場所

柏第三小学校防災備蓄倉庫（若葉町 4-54）

豊小学校内備蓄倉庫 1 階（豊四季 610-2）

○耐震性（井戸付）貯水槽設置場所

柏第三小学校耐震性井戸付貯水装置
（若葉町 4-54）

○防災用簡易井戸設置場所

豊小学校防災用簡易井戸（豊四季 610-2）

※ 巻末に防災マップを掲載していますので、普段から避難場所や避難の仕方を家族や援助者等と話し合い確認しておきましょう。

3. 非常持出袋はだれが何をもち出すか決めておきましょう。

①飲料水（水筒、ミネラルウォーター）

②食料 2～3 日分

（乾パン、缶詰、インスタント食品など）

③貴重品類（現金、預金通帳、印鑑など）

④懐中電灯、ロウソク、マッチ

⑤携帯電話、トランジスターラジオ、予備電池

⑥下着類、衣類、手ぬぐい、ビニール、風呂敷、細ひも、手袋、ティッシュ

⑦ヘルメットなどの保安帽

⑧応急医薬品（服用中の薬、傷薬、胃腸薬、目薬、脱脂綿、包帯、絆創膏など）

⑨筆記用具（マジック、ボールペンなど）

⑩乳幼児のいる家庭ではミルク、オムツなど

※ 避難グッズは、一年に最低一度、点検および品質チェックを行いましょう。

災害の日は 9 月 1 日です。

4. 災害時の安否確認の方法を決めておきましょう。

NTT「災害用伝言ダイヤル 171」、携帯各社の「災害用伝言板」、インターネットを利用するなど、家族や援助者等と話し合いを行い、予め災害時の安否確認の方法を決めておきましょう。

富里地域防災マップ



5. **地震発生時の行動**を覚えておきましょう。
東京消防庁「地震その時 10 のポイント」

■地震時の行動



グラッきたら身の安全

地震の時は、まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見る。

■地震直後の行動



落ちついて 火の元確認 初期消火

- ・火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- ・出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。



窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難できるような出口を確保する。



落下物 あわてて外に飛び出さない

瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので注意する。



門や塀には近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。

■地震後の行動



正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

6. **避難するときの注意事項**を覚えておきましょう。

○電気のブレーカー（漏電遮断機）を切り、ガスの元栓を忘れずに締める。

○火が発生したときは、大声で「火事だ、火事だ」と隣近所に知らせながら避難する。

○煙を吸い込まないように、タオルなどで口を覆い、姿勢を低くして避難する。

○避難するときは、階段を使用する。エレベーターは絶対使わないこと。

○あわてて外に飛び出すと危険ですので、落ち着いて、周囲の状況を確認避難する。

○避難の際は必ず徒歩で避難しましょう。

7. **応急手当の基本**を知っておきましょう。

地震で多いのは火傷、ガラスの怪我、捻挫、骨折です。

○火傷は水で冷やすことが基本中の基本です。
(最低 15 分)

○ガラスの破片が突き刺さったら、無理に抜くのは絶対禁物です。ガムテープなどで固定する。

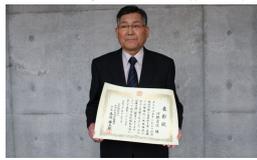
○捻挫や脱臼は冷湿布をして包帯で固定する。

○骨折したり、打撲した場合は、まず冷やすことが基本です。その後、副木をして、包帯・三角巾・バンダナ・ロープ・ヒモ・テープなどで固定する。

★永年表彰

永年にわたり社会福祉活動の重要性を深く認識され積極的に地域福祉の向上に貢献され、その功績は誠に顕著であります。よって柏市住民福祉大会にあたり表彰します。

河野吉次さん (富里)



★研修旅行 (9月26日～27日)



福島県喜多方市では、一昔前まで、農村集落、商店街など仕事つながりで、共同活動もし易かったが、歴史ある市でも、核家族化による「都市化の弊害」があり地域による共同活動に難しい問題を抱えているとのことです。その施策として、「地域の活性化に貢献しその成果が他の行政区の模範となる活動でしかも持続性のあるもの」を表彰する「一行政区一運動」を推進し、地域のコミュニティーの繋がりが薄くならないよう取り組んでいました。今までに 273 行政区のうち 121 行政区が何らかの活動を行い、22 行政区が表彰されたとのことです。

★乳幼児のホームケア (10月4日・富里近隣センター)

講師：(社)柏市医師会 柳川幸重先生(キッズクリニック)



富里地区ふるさと協議会健康づくり推進員のお世話で、定員一杯の 35 組の母子が出席 (子供の殆どは一歳未満) し、講師の説明に熱心に聞き入っていました。

★体育祭



10月16日に開催する予定でした体育祭は前日からの雨でグラウンドが水浸しとなり中止されました。

★おでんの会 (10月19日・富里近隣センター)



一人暮らしの方を招待し「おでんの会」が開催されました。100名近くの席がほぼ満席、味の良くしみた「おでん」を頂きました。

その後、演芸や鶴崎地区社協部会長のキーボードの



演奏に合わせて皆で歌を楽しみました。

前日からの準備、当日の配膳と、ボランティアの皆様ありがとうございました。

★文化祭 (11月6日～7日・富里近隣センター)



お茶会や絵画・手工芸など多数の作品の展示、NPOによる子供広場の実施、風船で動物の作成など、延べ695名が参加し、盛大に開催されました。

★ゴルフ大会 (11月15日)



絶好の秋晴れに恵まれ、第30回目の記念大会がかさまフォレストゴルフクラブで開催されました。参加人員8組30名でプレーを楽しみ、往復バスの中でも懇親が図られました。

優勝 谷古宇静江(豊東)、準優勝 小海正利(富里)、3位 岡部和夫(豊西)

★移動交番 (11月15日)



11月は栄町地域で、柏市防犯指導員と町会長・町会役員が住宅地内の生活道路をパトロールし、防犯への注意をアピールしました。

★飯盒炊飯、防災訓練 (11月19日)



当日は朝からの雨降りで、屋外での飯盒炊飯と防災訓練はできませんでしたが、屋内でのイベントは実施されました。子供たちは、集会室での防災映像上映や避難の心構えのお話とバケツリレーの訓練、和室ではゲーゴルゲーム、調理室で野菜調理と配膳のお手伝いなどの後で、昼食の手作りカレーを食べ、賑やかな土曜日を楽しんでいました。

★ハイキング (11月22日)



晩秋のハイキングが24名の参加で行われました。千葉市の市街にある広大な青葉の森公園を散策、银杏も色づき、秋を体感しました。園内にある県立中央博物館で千葉県の歴史や地理にも触れました。県内屈指の名刹の千葉寺にも参拝、樹齢一千年という大银杏には皆さん感心していました。

★ゆうゆうサロン



富里ゆうゆうサロンは、毎月第 2 水曜日の 10 時から 15 時まで、富里近隣センターで開催しています。

午前中は手芸、おしゃべり、囲碁、将棋を行い、昼食はおにぎりとボランティア手作りのお味噌汁などでゆったりと過します。

午後からは、みんなで歌をうたったり、軽い体操で

体をほぐしたり、ゲーブルゲームなどで楽しんだ後、お茶とお菓子とおしゃべりで、あっという間に 15 時になってしまいます。

ボランティアは、後片付けの後、反省会と次月の企画などの打合せを行います。

また、秋には年 1 回の親睦バス旅行に行きますが、今年 10 月 27 日にキッコーマン物知り館やミルクコミュニティを見学しました。

★豊友サロン



豊友サロンは、豊町東町会と豊町西町会の高齢者の憩いの場として、猛暑の 8 月を除き、毎月第 1・第 3 月曜日の 10 時から 15

時まで、豊町ふるさと会館で開催しています。

毎月、食事、手芸、将棋、唱歌、ゲームなどで楽しみ、隔月に一度は、市の保健師さんが、血圧測定、健康相談に来ていただいています。

また、年に 1 回～2 回、野外サロンとして、市の福祉バスを利用し、日帰り旅行を行っています。

気軽に遊びに来てください。

★おしゃべり会、ふれあいサロン



緑ヶ丘町会のおしゃべり会とふれあいサロンが発足して 10 年以上経過しました。おしゃべり会は、毎週木曜日の 10 時頃

から防災センターにおいて開催され、昼食時、当番のグループが交代でカレーライスを提供してくれています。14 時からは

50 分程の町内パトロールに続いて 15 時半頃まで三小児童の下校時見守りを行っています。

一方、ふれあいサロンは、毎月第四日曜日の 10 時から 15 時頃まで緑ヶ丘会館において絵手紙のサークル活動に加えてゲーブルやペタンクなどのゲームを楽しんでいます。

★「歌声喫茶」みんなで歌おう



地域ボランティア部(ゆうゆうサロン、豊友サロン、おしゃべり会、ふれあいサロン)では、11 月 16 日(水)、近隣センター会議室に 100 名が集い、歌声喫茶が開催されました。



「みんなで歌おう」と名付け、演奏には大正琴(鶴崎光次さん)やピアノ(長島宏子さん)、ギター(清水隆夫さん)のご協力をいただき、誰でも知っている懐かしい歌 26 曲を合唱し、楽しい一時を過しました。休憩時にはボランティアからおいしいコーヒーが振舞われました。

参加者からは、「ストレスが発散できた」、「年に一度のこの日を待っていた」、「来年も是非参加したい」など、好評でした。

主催者としては、選曲と構成にさらなる工夫を加え、皆さんにより楽しんでいただけるような「みんなで歌おう!!」に努めて行きたいと思います。

★お知らせ

新しいサロンが発足する予定です。通り 1 丁目町会のサロンですが、詳細は決定次第お知らせします。

名称 : あさひサロン

場所 : 朝日会館(通り 1 丁目町会の会館)

開催 : 平成 24 年 1 月に立ち上げ予定